

卵子・胚発生 SIG

SIG グループの名称	卵子・胚発生
グループの略称	Embryology Special Interest Group (ESIG)
専門領域キーワード	卵子成熟、胚発生、培養、卵子の加齢、ミトコンドリア、ゲノム安定性
活動の目的	ESIG は卵子・胚発生における科学的概念について基礎科学から臨床までを研究するグループである。ESIG の範囲は広く、基礎科学の進歩から実験室での実践、政策への影響まで、すべてを網羅しうる。この領域は、未成熟卵体外成熟 (IVM)・培養液・胚の酸素消費量計測機器・タイムラプスインキュベーターの開発といった、基礎的知見に基づいた様々な挑戦的な試みが現在進行形で行われる挑戦的領域である。臨床発生学の現在および将来の発展に興味を持つ多くの生殖医学に携わる医療従事者の主要な関心事であり、本領域における最新の科学的知見を収集、紹介するとともに、エビデンスを整理し、コンセンサス形成を目指す。
活動計画概要	ESIG では、学術講演会における発生学に関連したシンポジウム企画あるいはワークショップ・セミナーの企画を行う。将来的には不妊治療に携わる医療従事者および培養室のためのコンセンサススペースのガイドラインの作成を目指す。これらは生殖医療領域への貴重な貢献となりうる。他に価値があると考えられるトピックがある場合には随時追加を検討する。
委員長・副委員長・世話役	委員長 高橋 俊文 (福島県立医科大学 教授) 副委員長 吉野修 (北里大学 准教授) 世話役 山田満稔 (慶應義塾大学 専任講師)